

あや 現代何々全集に就  
いてふたたび大層のるり有り  
しものが 活んでゐるよと外  
るの 舟 経さ 又さまじ印  
税をいふ用ひ下さり 何れも 確に  
おまけのりした

立派に造らぬた全集である  
ために 唯 研究会なるものは 活版の  
多いと大でした 活版も 式  
意味が通ずるもの 活版者も  
て 困りませぬ 和、方丈 別紙に  
正澄表を掲げます 正澄  
表の 様子が あり 何れも  
これには 方丈のり

季節を 主としてお作りな  
るうた 詩 (花を) と 面をくお  
して ましたの 二三 偏甲と 新  
作して 下さるる人か 正澄  
に 正澄 扱下さるる 正澄 喜ぶ  
ちと あり ずり 清と ありし  
井上 康文 ね 阿はをを ね

兵庫縣甲子園四番町

阿波野 青 畝

電話西宮二八三七番

昭和 22 年 4 月 / 日